

指定管理者評価シート

所 管 課	健康福祉部 健康生活室 長寿・介護保険課
評価対象期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	川西市湯山台デイサービスセンター
	所 在 地	兵庫県川西市湯山台2丁目46番地
	設置目的	在宅の虚弱老人等に対し、通所の方法により各種のサービスを提供し、その福祉の向上を図るため、在宅老人の援護施設を設置する。
利用料金制		非利用料金制 ・ ←部利用料金制 完全利用料金制
指定管理者	名 称	社会福祉法人 川西市社会福祉協議会
	所 在 地	兵庫県川西市火打1丁目1番7号
指定管理業務の内容		<p style="text-align: center;">指定管理の業務内容を明確に記入してください。</p> <p>(1)老人福祉法第5条の23項に規定する老人デイサービス事業であって、通所の方法による入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練、介護方法の指導等に関する事。</p> <p>(2)デイサービスセンターの利用に関する事。</p> <p>(3)施設の利用料の徴収及び減免に関する事。</p> <p>(4)デイサービスセンターの施設及び付属設備の維持管理に関する事。</p> <p>(5)そのほか、市長が必要と認める業務に関する事。</p>
指定期間		平成24年4月1日～平成29年3月31日

2 評価結果

湯山台デイサービス

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
1 施設の設置目的の達成に関する取組み【有効性】	A		
(1) 施設の設置目的である事業運営の達成	B		
事業計画に則って施設の事業運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果が得られているか。	A	要介護5の方の利用者数が増加しており、民間施設での対応が困難な方を積極的に受け入れている。	特になし
利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。	B		
施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。	B		
[改善項目]		今後とも利用促進に向けてホームページの活用など、さらに効果的な方法を検討してPRに努めていただきたい。	特になし
(2) 施設の利用状況及び事業への参加状況	A		
施設の目的に則って、有効に活用(利用)されていたか。	A	1日あたりの利用者数が減少していますが、民間施設での対応が困難な方を積極的に受け入れており、評価できます。	市全体では高齢者の数は増加しているが、それ以上に通所介護事業所が増えており、結果、利用人数が平成21年度より減少傾向が続いています。
実施された事業への参加者数の増が図られたか。	B		民間施設では受け入れにくい方を積極的に受け入れ、日々の中で様々な工夫をされており、評価できます。
[改善項目]		多くの方に利用していただくため、積極的に地域行事(文化祭等)に参加したり、新しい事業に取り組む等、地域にあるデイサービスであるとPRに努めていただきたい。	他のデイサービス等も利用者が減している中で積極的な新規開拓は難しいと考えられるが、皆に施設のことを理解して選んでもらえるような体制づくりに取り組んでください。軽度の利用者に対する働きかけが弱いので積極的に働きかけたり、社会福祉協議会のネットワーク等の資源を活用して利用者の増を図ってください。

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
(3) 利用者の満足度	A		
利用者からの苦情に対して十分な対応がなされたか。	A	アンケートだけでなく、利用者や家族の方との会話を積極的にし傾聴に努めるなど、可能な限り利用者の要望に応えていただいています。	特になし
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られたか。	A		
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。	A		
その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A		
[改善項目]		特になし	特になし
2 効率性の向上に関する取組み【効率性】	A		
(1) 経費の節減	A		
施設の管理運営に関し、経費を効率的に節減するための十分な取組みがなされ、その効果が得られたか。	A	サービスの低下とまらない範囲の中で経費の節減を職員に周知徹底しており、最小限の経費支出に努力されています。	特になし
指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるような工夫がなされたか。	A		
[改善項目]		特になし	特になし
(2) 収入の増加 利用料金制を採用している場合のみ評価	B		
収入を増加するための具体的な取組みがなされ、その効果が得られたか。	B	1日あたりの利用者数が減少しているのを受けて、イベント行事等を増やし、利用者の増に向けて取り組んでおります。	特になし
[改善項目]		今後ともイベントの内容を精査の上、利用者増を図っていただきたい。	特になし
(3) 収支のバランスなど 利用料金制を採用している場合のみ評価	A		
収支のバランスが適切であったか。	B	介護保険の見直しによる収益の減及び利用者数の入院等による減少から、収入が思うように伸びておらず収支のバランスが悪化しています。	特になし
経費の効果的、効率的な執行が行われたか。	A		
収支の内容に不適切な点はなかったか。	A		
[改善項目]		人件費・事務費・事業費と削減を心がけていますが、収入とのバランスが悪化しているので更なる削減を心がけていく必要があります。	特になし

評価項目及び評価のポイント	評価 レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み【適正性】	B		
(1) 管理運営の実施状況	C		
施設の管理運営には、適切な人員配置がされたか。	C	職員が数種類の兼務を行って人件費削減に取り組んでいただいています。但し、適切な人員配置には配慮してください。新たな取り組みが見えるように努めていただきたい。	特になし
業務に必要な研修・教育が適切に行われたか。	C		
施設の維持管理が適切に行われたか。	B		
指定管理者の提案による新たな取り組みは実施されたか。	C		
[改善項目]		施設全体のレベルアップのため、最低限の研修参加に努めていただきたい。	平成24年度は研修の実施が不足しています。

評価項目及び評価のポイント	評価レベル	市評価 1次評価 (所見)	委員評価 2次評価(所見)
(2) 個人情報の保護、安全対策、危機管理体制、平等利用など	A		
施設の設置目的に応じた効果的な利用者への情報提供・広報活動が十分になされたか。	A	利用者への情報提供及び防火訓練の実施等、防火意識を高めるよう努力していただいています。	特になし
施設利用者の個人情報の取扱いが適切に行われたか。	A		
日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。	A		
防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。	A		
事故発生時や非常災害時の対応が適切であったか。	A		
利用者を限定しない施設では、利用者が平等に利用できるよう配慮されたか。	A		
利用者が限定される施設では、利用者の選定が公平で適切になされたか。	A		
[改善項目]		特になし	特になし
総 合 評 価			
評価ランク	A	<p>[所見] 利用者は減少しているものの民間施設での対応困難者を受け入れるなどの取り組みは評価できます。 収支バランスが悪い中、積極的に経費削減に取り組んでいます。</p> <p>[改善項目] 健全な施設運営をするため、収支のバランスを考慮しつつ利用者へのサービス向上に力を注いでいただきたい。</p>	<p>[所見] 久代デイサービス・湯山台デイサービス・緑台デイサービスの3センターとも利用者の減少問題を抱えています。これは市全体にデイサービスが増えていることが大きな要因であると考えられます。よって3センター共通の問題として社会福祉協議会も含めて合同で検討し、利用者の増に向けて市へ提案していく仕組みが必要です。</p>